



## コウノトリ放鳥・生息環境整備事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H22 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
[事業目的]												
<p>自然再生のシンボルであるコウノトリを越前市白山地区で引き続き飼育し、幼鳥を巣立ちの時期に合わせて自然な形で放鳥するとともに、県内全域に生息環境を整備する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) コウノトリ飼育・繁殖 つがいのコウノトリを越前市白山地区において飼育・繁殖させ、生まれた幼鳥を放鳥し福井に野外定着させる。外部委託による専任飼育員による継続的な飼育を行い、効果的に飼育・繁殖を行う。産卵期から巣立ち期（4月頃～8月頃）における見守り体制を強化するため、警備員を配置する。</p> <p>(2) 放鳥個体の追跡の実施 平成27年10月に放鳥したコウノトリに装着したGPS発信機を用いて、飛来位置を追跡する。</p> <p>(3) コウノトリ定着推進会議の開催 コウノトリ定着推進会議を開催し、コウノトリの野外定着に向けた対策検討や放鳥後の生態調査を報告・検証する。</p> <p>(4) 水田ビオトープの設置 コウノトリの生息環境整備を目的とした水田ビオトープを設置する。</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		7,433	21,064	20,264	18,840	22,892	22,892		第1ケージネットの修繕費用とGPS送信機3台の購入費用の増			
2月現計予算額の推移		5,431	21,064	20,264	14,840							
決算額の推移		3,360	21,056	17,152								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	コウノトリの放鳥個体数	(目標)	(実績)	(2)	(3)	(3)	(2)		H30までに10羽			
				2	2							
活動指標	ビオトープ設置個所数	(目標)	(実績)			(30)	(30)		H30までに6地区で各10か所ずつ計60か所（30か所/年）			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県・自然再生団体等				
予算額	22,892				22,892	事業実施方法		直営・補助				
						補助率		県1/2				

# 事業評価

事業名	コウノトリ放鳥・生息環境整備事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>平成30年度までに福井県の飼育下で生まれたコウノトリ10羽を放鳥し、放鳥個体による県内での野外繁殖をめざすことにより、福井のすぐれた里地里山の再生と保全に対する県民意識を高める。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県民								
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)			市町との連携状況	越前市においては、餌場環境の整備と地域住民への普及啓発に努め、またコウノトリ支援本部に飼育と環境整備に関わる職員を配置する。			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
コウノトリ2羽を9月に放鳥					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 三方五湖・北潟湖自然再生事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠 ビジョン	[元気な社会]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
			[ 三方五湖自然再生実施計画 ]				<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
三方五湖では、「三方五湖自然再生協議会（平成23年5月設立）」、北潟湖では「北潟湖の自然再生に関する協議会（平成25年3月設立）」において、地元市町と地域住民、農漁業者、研究者が主体となり、地域に即した自然再生活動を展開し、今後さらに活動を活発化させることにより、その魅力を全国にアピールしていく。												
[事業内容]												
<p>(1) 三方五湖自然再生事業実施計画に基づき三方五湖の自然の保全、再生、活用を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金対象者 三方五湖自然再生協議会</li> <li>・負担金額 2,000千円（事業総額 8,000千円（国1/2、県1/4、若狭町1/8、美浜町1/8））</li> <li>・活動内容 水田養魚による水産資源の確保、魚道・退避水路の整備、ヒシ刈り、特定外来種等の駆除、カヤ田の保全再生の支援、環境教育等</li> </ul> <p>(2) あわら市、農漁業者、地域住民、大学研究者が共働して北潟湖の自然の保全、再生、活用を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負担金対象者 北潟湖の自然再生に関する協議会</li> <li>・負担金額 1,000千円（事業総額 4,000千円（国1/2、県1/4、あわら市1/4））</li> <li>・活動内容 観察会やフォーラムの開催による自然の魅力の発掘、北潟湖の水産資源（シジミ等）の調査、外来種駆除等 自然再生法に基づく自然再生協議会の設立に向けた準備（北潟湖の自然再生を進める実施計画案づくり）</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,498	3,538	3,184	3,000	3,000	3,000					
2月現計予算額の推移		3,498	3,538	3,184	3,000							
決算額の推移		2,931	3,538	3,091								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	協議会の開催	(目標)			(5)	(5)	(5)	(5)	三方五湖自然再生協議会全体会の開催（1回/年） 北潟湖の自然再生に関する協議会（4回/年）※北潟湖では法定協議会の設立を目指し、活発な協議が必要。			
		実績	3	5	6							
活動指標	自然再生活動（部会）の開催	(目標)			(20)	(20)	(20)	(20)	三方五湖では活動が進展しており、18回（各6部会×3回/年）開催 北潟湖では活動が始動したばかりで（フォーラムの開催等）2回/年開催			
		実績	14	19	14							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		三方五湖自然再生協議会（自然再生法の法定協議会） 北潟湖の自然再生に関する協議会（任意協議会）				
予算額	3,000				3,000	事業実施方法		負担金				
						補助率		—				

# 事業評価

<b>事業名</b>	三方五湖・北潟湖自然再生事業	<b>部局名</b>	安全環境部	<b>課名</b>	自然環境課	<b>課長名</b>	黒部一隆	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>三方五湖では、県、美浜町、若狭町、漁業協同組合、農業者等が参加する三方五湖自然再生協議会を設立し、平成25年3月に「三方五湖自然再生実施計画」を策定した。両町および国も負担金を拠出し自然再生を進めていることから、県も同じく経費を負担し、これまで進めてきた成果をさらに進展させる。</p> <p>北潟湖では、県、あわら市、漁業協同組合、農業者等が参加する「北潟湖の自然再生に関する協議会」を平成26年3月に設立し、水田魚道の設置や、観察会、フォーラムの開催を進めてきた。市および国も負担金を拠出し、自然再生を進めていることから、県も経費を負担し、地域主体となる協議会において自然再生を行う。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
三方五湖・北潟湖周辺の住民								
<b>他県の状況</b>	滋賀県琵琶湖 内湖再生全体ビジョン（平成25年3月作成）による自然再生の推進 島根県・鳥取県中海 中海自然再生実施計画（平成24年3月作成）による自然再生の推進 自然再生の推進（中海自然再生協議会（H20.11）作成）	<b>前事業の有無・実績</b>	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有	事業名 三方五湖・北潟湖生物生息環境再生事業 （実績）	[三方五湖] ・法定協議会「自然再生協議会」の設立（H23.5） ・自然再生フォーラムや観察会等の開催、カヤ田の保全、ヒシ刈り等の実施（H25～H27） ・ヒシの管理指針の作成（H27） ・水田養魚のマニュアルの作成（H27） [北潟湖] ・北潟湖の自然再生に関する協議会」の設立（H25） ・水田魚道の設置、魚類の育成効果を検証、地域の子供対象の魚観察会（H25～H27）、フォーラム・エクスカージョンの開催（H27）			
<b>関連事業の有無・役割分担</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有                 事業名 （役割分担）	<b>市町との連携状況</b>	三方五湖自然再生協議会では、若狭町と美浜町が県とともに事務局を担い、国の交付金に合わせて、負担金を拠出している。  北潟湖の自然再生に関する協議会では、あわら市が事務局を担っており、国の交付金に合わせて負担金を拠出している。					
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
[三方五湖] ・ヒシの管理指針に基づきヒシの効果的な管理手法の開発を実施 ・三方湖産の魚類を増やす水田養魚マニュアルに基づく養魚の実施 ・三方湖の外来魚駆除の検証結果により効果的対策方針に基づき外来種駆除を実施 [北潟湖] ・地域の自然再生団体による活動が活発化を図るフォーラムを開催 ・地域の自然の魅力を探るエクスカージョンを実施					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## S A T O Y A M A イ ニ シ ア テ ィ ブ 推 進 ネ ッ ト ワ ー ク 事 業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			事 業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ ]									
[事業目的]												
<p>福井・石川両県知事の共同代表のもと平成25年9月に発足した「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を「SATOYAMAイニシアティブ」の理念を国内で共有するプラットフォームとして位置付け、SATOYAMAにおける生物多様性の保全や利活用を「国民的運動」へと展開する。</p>												
[事業内容]												
<p>県内と他県の子どもたちの中で、「里遊び」を軸にした相互交流、ネットワークを構成する自治体の教員や里山里海湖研究所の活用を促進する。</p> <p>(1) 国内におけるSATOYAMAイニシアティブの普及啓発          ・都市圏における参加団体共同による活動の発信          ・先進的な活動事例の認定や表彰制度の構築</p> <p>(2) 里山等地域の保全や利活用に関する成果の情報発信          ・参加団体の情報発信や集いの場としてシンポジウムの開催および情報誌の発行</p> <p>(3) SATOYAMAづくりに関する対話と実践          ・参加団体の課題やニーズに応じたワーキンググループ等の開催          ・活動の裾野拡大や質的向上を図るための有効な方策の検討</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	1,350	768	691	691					
2月現計予算額の推移		/	/	1,350	768							
決算額の推移		/	/	942								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク参加団体数 (目標)		(103)	(105)	(107)	(109)	(111)		新規登録団体 2団体/年			
	実績	101	103	106	108							
活動指標	セミナーの開催 (目標)		(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		年2回の総会に合わせ、会員の勉強会を開催			
	実績		2	4								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	691				691	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

## 事業評価

事業名	SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>SATOYAMAイニシアティブ（里山など二次的自然環境における生物多様性の保全とその持続可能な利用両立を図る取組）を推進していくためには、企業、自治体、NPOなどの主体的な取組に加え、多様な主体が協力、連携して、取組を進めていくことが重要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員				108団体				
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県と共同でSATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークを運営。石川県も同等の金額を予算計上予定。</li> <li>・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークに参加している他県もセミナーや現地視察等のイベントに参加。</li> </ul>			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 （役割分担）			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県で里山里湖での保全活動の現地視察やセミナーを行い、ネットワーク参加者どうしの交流、情報交換を実施</li> <li>・東京で開催された日本最大級の環境展示会で福井県の里山里海湖の保全活動やネットワーク活動を全国に発信</li> <li>・SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク普及啓発および異業種間のマッチングを図るため、活動事例集をホームページで紹介</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 実学研究の推進

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆										
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度										
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数												
			[ 福井県里山里海湖研究所中期計画 ]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他			4 年												
[事業目的]																						
年縞や豊かな自然環境など、本県が誇るべき里山里海湖による恵みの価値を再認識し、生物多様性の確保と福井の豊かな暮らしの承継につなげるため、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																						
[事業内容]																						
4名の研究者が、以下の分野において、里山里海湖の恵みを人々の暮らしに結びつける工夫を研究する。																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">研究項目</th> <th style="width: 85%;">研究内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境考古</td> <td>年縞を基に、過去の気候と人の暮らしの関わりを解明し、これからの生活に活かす研究</td> </tr> <tr> <td>保全生態</td> <td>里山里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究</td> </tr> <tr> <td>里地里山文化</td> <td>里に伝わる伝統的な技、文化、習俗等の資料を収集・整理し、県民の生活に活かす研究</td> </tr> <tr> <td>森里海湖連環</td> <td>森里海湖連環を守る伝統的知識の評価および衰退した里海湖資源の保全に関する研究</td> </tr> </tbody> </table>													研究項目	研究内容	環境考古	年縞を基に、過去の気候と人の暮らしの関わりを解明し、これからの生活に活かす研究	保全生態	里山里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究	里地里山文化	里に伝わる伝統的な技、文化、習俗等の資料を収集・整理し、県民の生活に活かす研究	森里海湖連環	森里海湖連環を守る伝統的知識の評価および衰退した里海湖資源の保全に関する研究
研究項目	研究内容																					
環境考古	年縞を基に、過去の気候と人の暮らしの関わりを解明し、これからの生活に活かす研究																					
保全生態	里山里海湖の生物多様性の保全・再生および生態系サービスの分析評価に関する研究																					
里地里山文化	里に伝わる伝統的な技、文化、習俗等の資料を収集・整理し、県民の生活に活かす研究																					
森里海湖連環	森里海湖連環を守る伝統的知識の評価および衰退した里海湖資源の保全に関する研究																					
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>																						
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由													
当初予算額の推移		/	12,000	11,955	8,764	9,466	9,466															
2月現計予算額の推移		/	12,000	10,108	8,764																	
決算額の推移		/	11,960	9,064																		
[成果指標等の推移]																						
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠													
成果指標	(目標) 実績	/							5年間の研究期間の途中年度毎に研究成果を数値化することは困難													
活動指標	(目標) 実績	/	(4) 4	(4) 4	(4) 4	(4)	(4)		各研究員が研究項目ごとに研究を行う													
[財源内訳・事業主体等]																						
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県														
予算額	9,466				9,466	事業実施方法		直営														
						補助率																



# 事業評価

事業名	実学研究の推進	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>本県の里山里海湖の自然環境や水月湖の年縞など、全国に誇れる地域資源について、科学的な解明、評価、研究が十分に行われていないことから、科学的な知見を取り入れた研究を行うことにより、その魅力の向上や研究成果の実践的活用につなげていく。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
各テーマにおいて、引き続き研究を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 研究活動発表会

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ ]								
[事業目的] 研究員が1年間で実施した研究活動の成果を県民に発信するとともに、県民からの意見を今後の活動に取り入れる。 また、発表会の開催に合わせて、里山里海湖保全に関する映画上映会や県内の活動者の事例発表会なども実施し、県民の里山里海湖保全・活用に関する機運を高めるイベントとして実施する。											
[事業内容]  (1) 事業内容 ・基調講演 里山里海湖保全の第一人者に講演を依頼 ・研究発表 4名の研究員が1年間の研究活動の成果を発表 ・活動者表彰 里山里海湖の保全再生に頑張る団体等の表彰および活動内容の発表 ・映画上映 里山里海湖保全に関連する映画を上映 ・里山里海湖体験ブース 里山里海湖の暮らし・遊びを体験できるブースを設置 ※各研究員ごとの研究活動発表は別途行う(研究推進費対応) (2) 実施時期 平成30年3月(予定)											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	380	1,028	1,029	1,013	1,013				
2月現計予算額の推移		/	380	1,028	1,029						
決算額の推移		/	353	956							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	開催回数	(目標)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)				
		実績	2	1							
活動指標	県民参加者数	(目標)	(400)	(200)	(200)	(200)	(200)				
		実績	280	146							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	1,013				1,013	事業実施方法	直営				
						補助率					

# 事業評価

事業名	研究活動発表会	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆																			
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>研究所の研究活動について、県民への周知を図ることで、研究所の活動に対する県民の理解形成につなげるとともに、研究活動への県民からの意見を聞くことで地域に貢献する実学研究につなげる。</p>																										
<p>[受益者]</p> <p>参加者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>200人</p>																						
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)																							
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況																							
<p>[事業の評価]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">前年度の実績</th> <th style="width: 30%;">実績を踏まえた29年度の変更点</th> <th colspan="3" style="width: 35%;">事業評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">                     27年度：参加者146名                      県立大学を会場に、学びの森登録団体への登録証交付式も同時開催                      ・ふくい里山里海湖活動表彰                      ・学びの森登録団体への登録証交付式                      ・映画上映「田んぼー生きものは語る」                      ・里山里海湖研究発表                      (自然保護関係関係機関連絡会議研究事例発表会との合同開催)                 </td> <td rowspan="3"></td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 拡充</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 縮減</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 終期の見直し</td> <td style="text-align: center;">見直し額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 休止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 完了</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 整理統合</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td style="text-align: center;"><input type="checkbox"/> その他</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点	事業評価			27年度：参加者146名 県立大学を会場に、学びの森登録団体への登録証交付式も同時開催 ・ふくい里山里海湖活動表彰 ・学びの森登録団体への登録証交付式 ・映画上映「田んぼー生きものは語る」 ・里山里海湖研究発表 (自然保護関係関係機関連絡会議研究事例発表会との合同開催)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	
前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点	事業評価																								
27年度：参加者146名 県立大学を会場に、学びの森登録団体への登録証交付式も同時開催 ・ふくい里山里海湖活動表彰 ・学びの森登録団体への登録証交付式 ・映画上映「田んぼー生きものは語る」 ・里山里海湖研究発表 (自然保護関係関係機関連絡会議研究事例発表会との合同開催)		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																					
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																						
		<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																						

## 「残そう・伝えよう！」身近な生きものの調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
地域と小学校、里山里海湖研究所が共働し、地域の身近な自然環境の保全・再生を行うため、子どもたちの継続した身近な生きものの調査・保全活動を実施する。												
[事業内容]												
(1) 実施小学校 ・ 1ブロックあたり3校 × 7ブロック = 21校												
(2) 調査対象 ・ 学校の身近な生きものを調査対象とし、継続した調査・保全活動を行う。 (例) ホタル、ミチノクフクジュソウ、イトヨ、トンボ、ビオトープの生きものなど												
(3) 支援内容 ・ 学校専任の里山里海湖学校教育アドバイザー、自然再生支援隊を派遣 ・ 生きもの観察・調査資機材の助成 ・ 全体を総括するコーディネーターを派遣し、調査票、報告書等を作成												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	3,417	4,548	4,497	4,497		27→28：実施校の拡大（14から21校）による増			
2月現計予算額の推移		/	/	3,417	3,502							
決算額の推移		/	/	2,236								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加児童数	(目標)	/	(500)	(800)	(800)	(800)		H26年度身近な生きもの生息環境調査事業8校302人参加 302÷8≒38 38×21≒800			
		実績	/	1,110								
活動指標	生きもの調査実施校数	(目標)	/	(14)	(21)	(21)	(21)		県内7ブロックから選定 平成28年度以降は継続的な調査を実施			
		実績	/	14								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、小学校				
予算額	4,497				4,497	事業実施方法		委託、補助				
						補助率		10/10				

# 事業評価

事業名	「残そう・伝えよう！」身近な生きもの調査事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>小学校において様々な形で生きもの調査等が実施されてきたが、実施に係る負担や担当教員の異動が大きいことにより継続が困難となっている。そこで、ふるさと福井の将来を担う小学生が、身近な自然環境の保全・再生に取り組むためには、学校側の負担を減らし、地域との連携を強めていくことが求められる。</p>							
[受益者] 県内小学校児童				[想定される受益者数] 年間800人			
他県の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単発的に生きもの調査等を主催して実施している県はあるが、生きもの調査・保全活動の継続を目的に事業を実施している県はない。</li> </ul>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      身近な生きもの生息環境調査事業 (実績) 県内7ブロックごとに、身近な生きもの調査をするモデル校を指定し、トンボ、メダカ、積雪量の共通調査と学校独自の学校別調査を実施 県内8小学校(302人)が参加				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県小教研7ブロックにおいて、合計21校で実施</li> <li>・調査票の設計や調査のコーディネートを行うことで、継続的な調査・保全活動が行えるようなシステムを構築</li> </ul>				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## ふくい生きもの歳時記体感事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[ ]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他			3 年		
[事業目的]												
<p>人の営みや生きものが季節に応じて移ろう様子を、県民が参加して調査することにより、「身近な自然を発見」し、「人の営みと自然との関係」を体感することで、福井の里山里海湖の素晴らしさを県民自らが語り、次世代につなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 調査方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民が年間を通じ、その時季ならではの生きものや体験を記録し、随時ホームページやFAX等で里山里海湖研究所に報告</li> <li>・ 小学校4年生を対象に「身近な生きもの観察シート」を配付し、上記の記録・報告を促進</li> <li>・ 中学校理科教員全員を研究所の研究推進員に委嘱し、生きもの等の調査を実施</li> </ul> <p>(2) 周知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「身近な生きもの観察シート」、「七十二候を学ぶ歳時記シート」を配付</li> <li>・ 季節ごとに生きもの観察・報告会を開催</li> <li>・ 研究所ホームページ、県広報誌等で周知</li> </ul> <p>(3) 活用方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究所ホームページで公開し、県民が季節ごとの福井の自然を楽しみ、学ぶ</li> <li>・ 調査結果を研究推進員がそれぞれの学校で環境教育に活用</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	3,236	2,306	2,294	2,294					
2月現計予算額の推移		/	/	3,236	2,306							
決算額の推移		/	/	3,092								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	報告件数	/	/	(300)	(600)	(800)	(1,000)		50件/月×12月=600件(※27年度は6か月) 29年度以降は県民への浸透による増			
		/	/	385								
活動指標	歳時記シート等の配布	/	/	(4)	(4)	(4)	(4)		季節ごとに作成し、配布することにより事業の周知と気運の高まりを目指す。			
		/	/	4								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	2,294				2,294	事業実施方法		直営				
						補助率						

## 事業評価

事業名	ふくい生きもの歳時記体感事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>二十四節気や七十二候に表れる、季節に応じた生きものや気候などの身近な移ろいを、大人から子供まで県民が幅広く参加して観察し、報告することを通して、季節の移ろいや福井の里山里海湖の豊かな自然を実感する。</p>							
[受益者] 県民				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・県民向け「福井の生きもの歳時記シート」（4季）、小学校4年生向け「身近な生きもの観察シート」（4季）を配布 ・研究所のホームページの「福井の生きもの歳時記」ページで、投稿のあった情報を随時公開 ・中学校理科教員227名を研究推進員に委嘱し、季節の生きもの調査等に参画				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## せせらぎ定点観測

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ 福井県環境基本計画 ]									
[事業目的]												
県内の小学生が地域の河川や用水路をフィールドに水質や水生生物、景観などを調査することにより、地域の水環境に対する関心を高め、将来にわたって、自発的に水環境の保全活動を促すことを目的とする。												
[事業内容]												
<p>県内8河川において水質や水生生物、景観等を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査方法 水辺のすこやかさ指標（みずしるべ）を活用した定点観測（水質、生き物等を調査）</li> <li>・実施時期 7月から8月（夏季休業中）</li> <li>・対象 小学生</li> <li>・実施主体 河川の保全活動を行っているNPO・団体等</li> <li>・結果報告 各団体等でとりまとめた結果を県ホームページ等で公表</li> <li>・支援内容 5年間調査を継続することを要件に団体等に対し、調査用教材（みずしるべ）や調査消耗品（COD簡易検査キット、透視時計等）等の支援を実施</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	1,294	1,024	1,068	955	955					
2月現計予算額の推移		/	1,294	814	768							
決算額の推移		/	462	810								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	せせらぎ定点観測参加者数	/	/	(120)	(120)	(120)	(120)		1河川あたり参加者数15人×8河川			
		/	/	119	119							
活動指標	せせらぎ定点観測開催数	/	/	(8)	(8)	(8)	(8)		間戸川、足羽川、竹田川、九頭竜川、日野川、田倉川、はず川南川で調査実施 ※27年度は雨天増水のため、間戸川での調査中止			
		/	/	7	8							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	955				955	事業実施方法		直営				
						補助率		—				



# 事業評価

事業名	せせらぎ定点観測	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>河川護岸や農業用水路の整備による親水機会の喪失や、工場・生活排水による水質の劣化などにより、県民、特に子供たちの住んでいる地域の水との関係が希薄になっており、今後、「いのちの源」である水の保全への関心が低下し、水質等がさらに悪化することが懸念される。</p> <p>このため、県内の小学生が地域の河川や用水路をフィールドに水質や水生生物、景観などを調査することにより、地域の水環境に対する関心を高め、将来にわたって、自発的に水環境の保全活動を促す必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
県内小学生				120人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
県内8河川で定点観測を実施(119名参加) 田倉川(7/25)、竹田川(7/27)、九頭竜川(7/30)、南川(7/31)、 日野川(8/3)、はず川(8/6)、足羽川(8/18)、間戸川(8/20)					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「福井ふるさと学びの森」事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[ ]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		3 年		
[事業目的]												
<p>里山を大切に思う人づくりを進めるため「福井ふるさと学びの森」を設置し、里山での体験活動を通して人の暮らしと里山との関わりを学ぶことのできる、体験プログラムを実施する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 学びの森 若狭エリア の運営            場所： 若狭町気山（民有林）            内容： ・一般県民を対象とした年間体験プログラムの実施（5回）            ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（5回）            ・里山林の保全作業の実施</p> <p>(2) 学びの森 あわらエリア の運営            場所： あわら市北潟（国有林）            内容： ・一般県民を対象とした年間体験プログラムの実施（5回）            ・小学校、幼稚園、保育園への里山学習の機会を提供（3回）</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	5,488	4,310	3,425	3,425		若狭エリアはH28で森林整備が終了			
2月現計予算額の推移		/	/	5,488	4,310							
決算額の推移		/	/	5,089								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	参加者数	(目標)	(500)	(510)	(450)	(450)	(450)		イベント参加者30名×15回			
		実績	590	628	448							
活動指標	イベント開催数	(目標)	(8)	(17)	(15)	(15)	(15)		イベント5回開催（荒天による中止含む）×3エリア（若狭、あわら、奥越）			
		実績	8	17	15							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	3,425			諸	215	3,210	事業実施方法	委託				
							補助率	—				

# 事業評価

事業名	「福井ふるさと学びの森」事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>里山に人の手が入らなくなり荒廃が進む現状において、子供たちが身近にある森の中で自然に触れ合う機会が失われている。そのため、荒廃した里山のフィールドを使って、地域団体等が取り組む里山保全活動や、各小学校や幼稚園、保育園等が取り組む幼少教育活動におけるモデルとなる事業を実施し、そこで得られた活動プログラムを展開することで、身近な里山の保全活動し、そのフィールドを活用した体験活動が活性化することを目指す。</p>								
[受益者] 参加者				[想定される受益者数] 450人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      緊急雇用創出事業臨時特例基金事業 (実績)  若狭町気山で長期間放置され荒廃が進んでいた民有林を借りて「福井ふるさと学びの森」を開設。8回の体験イベントを実施し、241人が参加。			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      「ふるさと学びの森」ネットワーク事業 (役割分担)  当事業では、県が主体的に進める活動のモデル作りを目的に取り組み、ネットワーク事業では、県内の活動者の支援やレベルアップの機会を提供することによる活動の県内広範囲にわたる浸透を目的に取り組む。			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
平成28年度 イベント12回開催で344名参加 あわらエリア参加人数119名(4回) 若狭エリア参加人数96名(3回) 奥越エリア参加人数129名(5回)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・若狭エリアのフィールド整備完了。体験活動を継続して実施</li> <li>・あわらエリアでは、里海が隣接する特徴を生かした幅広い体験活動を実施(里海での体験は実費徴収)</li> </ul>			<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 885
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「福井ふるさと学びの森」ネットワーク事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
[事業目的]												
県内で自然体験活動を行う活動団体をネットワーク化し、活動場所を学びの森として登録。登録団体の活動を支援し、ネットワーク化を図ることにより、活動の全県展開を図り、県民が気軽に里山に触れ親しむ機会を増やす。												
[事業内容]												
<p>(1) 「福井ふるさと学びの森」の全県展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山での体験活動に取り組んでいる団体等と活動場所を登録し、「福井ふるさと学びの森」として活動を展開</li> <li>・学びの森での活動をまとめたパンフレットの作成、ホームページでの情報発信を通じて、活動を広く情報発信</li> </ul> <p>(2) 学びの森登録団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録団体への技術的な指導や助言を行うため、活動の専門家を講師として派遣</li> <li>・森林保全活動の促進や学びの森活動の安全性向上のために必要となる資機材の無償貸与を行う。</li> <li>・安全性の向上のための合同研修会を開催（NPO法人自然体験活動推進協議会への委託）</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移			/	/	7,966	3,568	2,685	2,685		H28 整備活動に必要な資機材（ウッドチップパー、薪割り機等）の購入経費分の減少、登録団体への研修会の実施など増加 H29 活動の安全面を支援する資機材（AED、業務用無線等）の購入経費分の減少		
2月現計予算額の推移			/	/	7,966	3,568						
決算額の推移			/	/	7,860							
[成果指標等の推移]												
区 分			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	登録団体実施のイベント参加者数	(目標)	/	/	-	(1,200)	(1,200)	(1,200)		登録団体数30×年間2回イベント開催×平均20人参加		
		実績	/	/								
活動指標	ネットワーク登録団体数/登録団体開催イベント数	(目標)	/	/	(17)	(60)	(60)	(60)		H27 登録団体数（各市町1団体以上の登録を目標） H28～各登録団体平均年2回以上のイベント実施		
		実績	/	/	30							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体						
予算額	2,685				2,685	事業実施方法	県直営					
						補助率	-					

## 事業評価

事業名	「福井ふるさと学びの森」ネットワーク事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県内全域において県民が身近に里山に触れ親しむ機会を創出するため、県内各地で理念を同じくして活動する活動者のネットワークを図り、共にレベルアップしていくことを目指す。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>参加者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>年間1200人</p>			
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    「福井ふるさと学びの森」事業 (役割分担)  当事業では、県が主体的に進める活動のモデル作りを目的に取り組み、ネットワーク事業では、県内の活動者の支援やレベルアップの機会を提供することによる活動の県内広範囲にわたる浸透を目的に取り組む。			市町との連携状況			
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
県内各地における活動者を募集し、平成28年2月に30か所の学びの森を登録		資機材の整備完了		<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	△ 883
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 里山里海湖リーダー育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度 H26 年度 経過年数 4 年	事業終了 予定年度 H30 年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金			
[事業目的]											
地域で頑張る自然再生団体等のレベルアップを図るため、自然再生団体の指導者等を対象とした里山活動のトップクラス講師による連続講座を実施する。											
[事業内容]											
県内で里山里海湖の保全・再生・活用に取り組む活動者を対象として、県外からの先進的な事例等を学ぶ講座を開催する。											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 年5回</li> <li>・会場 福井市内（アオッサ）</li> <li>・受講者 自然再生団体の指導者等</li> <li>・受講人数 約40名</li> <li>・内容 里山里海湖の保全・再生・活用に関する座学講座</li> </ul>											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		/	302	394	431	431	431				
2月現計予算額の推移		/	302	394	431						
決算額の推移		/	301	393							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	講座参加者数	(目標)	(160)	(200)	(200)	(200)	(200)		講座1回あたり40人		
		実績	136	172							
活動指標	講座実施回数	(目標)	(4)	(5)	(5)	(5)	(5)		月1回開催×5か月（7月～11月）		
		実績	4	5							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	431				431	事業実施方法		直営			
						補助率		—			

# 事業評価

事業名	里山里海湖リーダー育成事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>里山里海湖の保全・再生・活用に関する活動者の意欲を醸成し活動の活性化につなげていくには、県外等の先進的な幅広い事例を学び、活動に対する刺激を与えるとともに、科学的な知見を取り入れていくことが有効。</p>							
[受益者] 活動者				[想定される受益者数] 年間200人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
平成28年度：218人参加（全5回） 里山里海湖における生物多様性の保全や、地域資源の活用などをテーマとした連続講座を実施		参加者からのアンケート結果等を基に、求められる分野や内容の講義を取り入れていく。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 里山里海湖活動者表彰

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
							<input type="checkbox"/> その他	□ その他		4 年		
[事業目的]												
地域で頑張る自然再生団体等の里山保全・再生・活用に関する活動を幅広く表彰し、県が活動者を積極的に後押しすることにより、県内の里山里海湖保全・再生・活用に関する活動機運の醸成を図る。												
[事業内容]												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表彰対象 県内の里山里海湖を「守る・学ぶ・活かす・伝える」活動に取り組む地域団体、NPO、学校、企業など</li> <li>・ 表彰者数 10団体程度</li> <li>・ 表彰実施時期 年度末に開催する研究発表会と同時開催を想定</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	218	229	229	229	229					
2月現計予算額の推移		/	218	229	229							
決算額の推移		/	210	165								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	表彰団体数累計	(目標)	(10)	(17)	(24)	(31)	(38)		県内での里山里海湖の保全・再生・活用等に関する活動の盛り上げりを醸成し、多くの活動団体を表彰していく			
		実績	/	7	13							
活動指標	表彰団体数	(目標)	(10)	(7)	(7)	(7)	(7)		毎年県内で活動に取り組む団体を表彰			
		実績	/	7	6							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	229				229	事業実施方法		直営				
						補助率		—				



## 事業評価

事業名	里山里海湖活動者表彰	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>地域で里山里海湖の保全・再生・活用に地道に取り組む活動者にはスポットライトが当たるのが少なく、活動継続に関するやる気の低下が懸念される。頑張る活動者を県が表彰することで、活動者の意欲の醸成や、活動への理解者の増加につながり、活動が活性化されることを目指す。</p>							
[受益者] 活動者				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)	市町との連携状況	市町長から候補者を推薦				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
県内の里山里海湖の保全・再生・活用にに取り組む6団体を表彰				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 自然再生ふくい行動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ] 政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H20 年度 経過年数 10 年	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			[ ]								
[事業目的]											
かつてはどこにでも見られた身近な動植物が、近くの小川や田んぼ、家のまわりなどで再び見ることができるよう、県民一人ひとりが身近な自然を守り育む県民活動を推進する。											
[事業内容]											
自然再生支援隊の派遣 地域、団体、学校、企業等が行う里地里山の保全活動、自然環境保全活動、生き物調査などの技術的な指導や助言を行うため、専門家を派遣し、活動をサポートする。 [自然再生ふくい行動プロジェクト参加登録数] 176団体・44個人、合計13,809人 [いきもの百葉箱参加登録数] 169団体、5,195人 [派遣回数] 100回/年											
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		2,191	646	646	646	646	646				
2月現計予算額の推移		2,191	646	646	646						
決算額の推移		2,178	546	550							
[成果指標等の推移]											
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	いきもの百葉箱・プロジェクト登録人数 (目標)				(19,000)	(19,500)	(20,000)		新規登録者 500人/年		
	実績	16,387	17,409	18,530							
活動指標	いきもの百葉箱・自然再生支援隊講師派遣回数 (目標)				(100)	(100)	(100)		講師派遣回数 100回/年		
	実績	67	49	56							
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	646				646	事業実施方法		直営			
						補助率		—			

# 事業評価

事業名	自然再生ふくい行動推進事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>個人、企業、町内会、学校、農業団体など、県民一人ひとりが外来生物の駆除、生き物の生息環境整備などの自然再生活動や、生き物観察等を通じて子どもたちが環境教育に取り組むことを推進。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県民							
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・自然再生ふくい行動プロジェクト プロジェクト参加登録数：176団体・44個人、合計13,809人 自然再生支援隊派遣回数：36回  ・いきもの百葉箱 登録数：120団体、4,721人 講師派遣：20回				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 里山里海湖人の営み体験講座

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H26 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[ ]			<input type="checkbox"/> その他	□ その他		4 年			
[事業目的]												
里山里海湖研究所の来所者に対し、地域のお年寄り等を講師に里山里海湖の伝統的な人の営みを題材とした気軽な体験メニューを提供し、里山里海湖の魅力を幅広い世代に伝える。												
[事業内容]												
<p>里山里海湖研究所にて来所者が気軽に体験できるメニューを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受講者 40名程度（土日・祝 1日あたり）</li> <li>・開催日 土曜・日曜・祝日（年末年始を除く）</li> <li>・場所 里山里海湖研究所 展示・里遊びコーナー</li> <li>・内容 お手玉作り、竹笛づくり、杉玉鉄砲など</li> <li>・講師 公益社団法人若狭町シルバー人材センターより地域のお年寄りを派遣</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	80	1,907	861	861	861					
2月現計予算額の推移		/	80	1,907	861							
決算額の推移		/	80	1,422								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	来所者数	(目標) (1,000)	(3,000)	(6,000)	(10,000)	(15,000)	(15,000)		展示・体験メニューの充実を図り、来所者数の増加			
		実績 1,196	5,326	12,865								
活動指標	実施体験メニュー数	(目標)	(8)	(12)	(14)	(16)	(18)		里山の自然素材を使った体験メニューについて、年々拡大			
		実績 8	15	16								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	861				861	事業実施方法		直営・委託				
						補助率		—				

# 事業評価

事業名	里山里海湖人の営み体験講座	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>里山里海湖研究所を県民が気軽に集う拠点にしていくために、気軽に里山里海湖に触れることができる体験メニューを来所者に提供し、親しみのある施設にしていく。</p>							
[受益者] 来所者				[想定される受益者数] 年間1.5万人程度			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
・研究所周辺および縄文ロマンパーク内の自然観察メニューを新設 ・28年度上半期の来所者数は10,058人（前年度同期間8,138人）であり、県内外からの来所者数は年々増加				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 全国里山里海湖関連フォーラム等誘致事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
[事業目的]												
<p>県外から参加者が集まるフォーラムや研修会などの開催を誘致し、全国の研究者や活動者に対し福井の里山里海湖の魅力を発信するとともに、県内活動者等との交流によるネットワークの拡大や先進的な知見・技術の取り込みにつなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 自然再生学会の開催（2日間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容 自然再生学会を本県で開催し、併せて県内の自然再生の現場の見学・意見交換会を実施する。</li> <li>・対 象 150名（自然再生学会会員 100名想定、県内自然再生活動者 50名想定）</li> <li>・実施時期 平成29年6月</li> </ul> <p>(2) 自然再生実地研修の開催（3日間：敦賀市、若狭町、美浜町）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容 自然再生活動の現場で、指導の下に自然再生作業を行う実地研修を開催</li> <li>・対 象 全国の自然再生士、自然再生士補等 50名想定</li> <li>・実施時期 平成29年10月</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	995	1,414	1,469	1,469					
2月現計予算額の推移		/	/	995	1,414							
決算額の推移		/	/	968								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	イベント参加者数	(目標)	/	/	(150)	(150)	(200)	(200)	H29年度：自然再生学会参加者数（150名） 自然再生実地研修参加者数（50名）			
		実績	/	/	177	126						
活動指標	開催回数	(目標)	/	/	(2)	(2)	(2)	(1)	H29年度は自然再生学会、自然再生実地研修を開催。			
		実績	/	/	2	2						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,469				1,469	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

# 事業評価

事業名	全国里山里海湖関連フォーラム等誘致事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>県外からの参加者が集まるフォーラムや研修会を誘致することは、県外者に本県の魅力を発信するだけでなく、県内活動者の新たな知見の取り込み、県外者との交流による活動意欲の向上などにつながるため有意義であると考えます。</p> <p>また、技術を持つ者が集まる実地研修を行うことで、活動者のレベルアップだけでなく、自然再生の取り組みを必要とする現場の再生を促進することを目指す。</p>							
[受益者] 参加者				[想定される受益者数] 200人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然再生、環境保全、生物多様性をテーマとした講座を開催し、県外53名、県内50名が参加 (8/27、28)</li> <li>・ 併せてエクスカージョンを開催し、17名が参加 (8/29)</li> <li>・ 自然再生手法を現場で学ぶ実地研修を越前市白山地区で開催し、県外12名、県内11名が参加 (7/8～10)</li> </ul>		27、28年度に実施した自然再生士特別認定講習会は今年度で終了するため、新たに自然再生学会を誘致する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「里山里海湖」研究・活用推進事業（運営費）

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	安全環境部	課名	自然環境課		課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な里山里海湖 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H25 年度	事業終了 予定年度	H30 年度	
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数			
							<input type="checkbox"/> その他	□ その他		5 年			
[事業目的]													
里山里海湖研究所の活動を行うために必要となる、人件費や施設運営にかかる経費を計上する。													
[事業内容]													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究所所長、研究アドバイザーにかかる費用（報償費、旅費）</li> <li>・ 嘱託職員にかかる費用（賃金、共済費、通勤旅費）</li> <li>・ 施設管理にかかる費用（光熱水費、通信運搬費）</li> <li>・ 公用車にかかる費用（公用車リース料、燃料費） など</li> </ul>													
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>													
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		12,046	28,754	20,348	21,497	26,108	26,108						
2月現計予算額の推移		12,046	28,754	19,865	27,199								
決算額の推移		11,943	28,716	19,550									
[成果指標等の推移]													
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標) 実績								研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可				
活動指標	(目標) 実績								研究所の運営に必要な事務的経費であるため、成果・目標の設定は不可				
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県						
予算額	26,108			諸	2,312	23,796	事業実施方法	直営					
							補助率						



# 事業評価

事業名	「里山里海湖」研究・活用推進事業（運営費）	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>研究所における活動を実施するために必要となる経費を計上する。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
研究所の活動がスムーズに執行できるよう、適切な管理運営を実施		平成30年度からの次期中期計画策定にかかる報償費等を計上する。		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 「年縞」活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会]			事業 区分	■ 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H27 年度	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]				□ 県単	□ 補助金				
[事業目的]												
水月湖「年縞」を教育・観光に活用するための年縞研究展示施設について整備を進め、国内外における年縞研究の推進を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 年縞研究展示施設の整備 整備概要 建設予定地 三方上中郡若狭町鳥浜第122号12番地1 縄文ロマンパーク内 川風広場（若狭町有地） 建物の概要 構造 木造・鉄骨・RC混構造2階建 延床面積 約1,794㎡ 全体整備費 約14.8億円</p> <p>(2) 年縞の活用 新たな年縞研究の支援のため、県が採取した水月湖の年縞コアを国内外の研究者に対し無償で研究試料として提供。 提供に当たっては、応募のあった研究課題の目的や計画について、専門家を入れた審査会を開催し、学術的重要性などを審査。</p>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	87,560	69,197	648,206	635,603					
2月現計予算額の推移		/	/	87,502	168,053							
決算額の推移		/	/	53,066								
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	年縞研究展示施設開館 (目標)	/	/	/					平成30年度開館に向けて整備を進める。			
	実績	/	/	/								
活動指標	年縞試料の提供数 (目標)	/	/	/	(4)	(4)			1年あたり4件の試料を研究者に提供			
	実績	/	/	/								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		事業主体		県		
予算額	648,206	190,882	9,000	財・繰入 238,637		209,687		事業実施方法		直営		
								補助率		—		

# 事業評価

事業名	「年縞」活用推進事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>水月湖「年縞」は、世界標準の「ものさし」としての世界的評価や気候変動等の環境復元など、地域の自然環境史や里山起源を解明する上で欠くことのできない世界に誇れる地域資源である。</p> <p>本県の豊かな自然と里山里海湖が長年の年月をかけ育んだシンボリックな存在である「年縞」を展示するための施設整備を進めるとともに、水月湖年縞を活用し研究の推進、教育普及活動を行う。</p>							
[受益者] 来館者				[想定される受益者数] 60,000人			
他県の状況	<p>&lt;類似施設概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県立琵琶湖博物館【滋賀県】</li> <li>・立山カルデラ砂防博物館【富山県】（県立）</li> <li>・石川県立自然史資料館【石川県】</li> <li>・富山県立山センター 立山自然保護センター</li> <li>・石川県白山自然保護センター 中宮展示館</li> </ul>	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      「年縞」採取・活用推進事業 （実績）  水月湖湖底から「年縞」を採取し、記録映像や展示用標本の製作、展示研究施設基本計画の策定を行った。				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名      年縞研究展示施設 開館PR事業 （役割分担）  年縞研究展示施設開館に向けた機運を盛り上げるため、年縞に関するシンポジウムおよび施設見学会を開催	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計の実施</li> <li>・共同研究に関する協定による立命館大学での花粉分析研究</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築、展示工事</li> <li>・外構工事の設計、工事</li> <li>・年縞実物の加工</li> </ul>		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 年縞研究展示施設 開館PR事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H29 年度	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[ ]				<input type="checkbox"/> その他	□ その他		1 年		
[事業目的]												
世界に誇る水月湖年縞について、年縞研究展示施設開館に向けた機運を盛り上げるため、年縞に関するシンポジウムおよび施設見学会を開催する。												
[事業内容]												
<p>(1) 年縞シンポジウム開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期 平成29年11月頃</li> <li>・開催会場 国際交流会館 多目的ホール</li> <li>・主な内容 基調講演、記念講演、有識者・研究者による対談</li> </ul> <p>(2) 年縞研究展示施設見学会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期 平成30年3月頃（鉄骨工事、屋根工事終了後）</li> <li>・開催会場 三方青年の家 多目的ホール</li> <li>・主な内容 施設見学会（建設中の施設見学会）、研究発表・講演会、年縞を数える体験講座、レイククルーズ湖上解説</li> </ul> <p>(3) サマースクール（経費は立命館大学負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催時期 平成29年夏季休暇等</li> <li>・開催会場 県内スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校等</li> <li>・主な内容 立命館大学 古気候学研究センター 中川 毅 教授等による年縞研究や気候変動についての特別講座を開催</li> </ul>												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">（単位：千円）</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		/	/	/	/	2,367						
2月現計予算額の推移		/	/	/	/							
決算額の推移		/	/	/	/							
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	開催回数	(目標)	/	/	/	(2)			嶺北においてシンポジウム、嶺南において施設見学会を開催			
		実績	/	/	/							
活動指標	参加者数	(目標)	/	/	/	(600)			シンポジウム300名、施設見学会300名を想定			
		実績	/	/	/							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	2,367				2,367	事業実施方法		直営・委託				
						補助率		—				

# 事業評価

事業名	年縞研究展示施設 開館PR事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>年縞研究展示施設開館に向けて、年縞研究の第一人者による研究の現状および水月湖年縞の価値について、発表・意見交換を行うシンポジウムおよび現地での施設見学会を開催し、水月湖年縞についての理解を深め、開館に向けた機運を醸成するとともに、施設のPRを行う。</p>							
[受益者] 一般県民等				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名 「年縞」活用推進事業 (役割分担) 年縞研究展示施設本体の整備、年縞研究の推進		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績	実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
			<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
			<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

## 里山里海湖魅力向上検討事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な社会] 政策 [豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H29 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[新幹線・中縦開業アクションプログラム]									
[事業目的]												
三方五湖周辺のさらなる魅力向上と誘客を図るため、三方五湖PAや道の駅、年縞研究展示施設等があるはず川を中心としたエリアの活性化方策について、有識者を交えた検討会を開催する。												
[事業内容]												
三方五湖PAのある はず川右岸エリアと道の駅、水月湖年縞研究展示施設（仮称）がある はず川左岸エリアを結ぶ連絡橋整備の必要性や、両側のエリアを一体とした魅力向上方策について有識者を交えて検討会を開催												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						3,438						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								事業内容が魅力向上方策の検討までのため成果指標の設定が困難			
活動指標	検討会の開催 (目標) 実績					(3)			開催予定回数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	3,438				3,438	事業実施方法	直営					
						補助率	—					

## 事業評価

事業名	里山里海湖魅力向上検討事業	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>三方五湖周辺は、舞鶴若狭自動車道の開通（H26.7）に伴う三方五湖パーキングエリアの開業や道の駅 三方五湖（H27.3）の開業により観光客が増加している。さらに平成29年度には三方五湖スマートインターチェンジ、平成30年度には水月湖年縞研究展示施設（仮称）の開館が予定されている。</p> <p>当該事業地のさらなる魅力向上と誘客を図るため、三方五湖パーキングエリアと道の駅、水月湖年縞研究展示施設（仮称）エリアの両エリアを結ぶはず川を中心としたエリアの活性化に向けた方策について検討を行う。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
年縞研究展示施設来館者				60,000人			
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)		
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名 「年縞」活用推進事業 (役割分担)  年縞研究展示施設本体の整備、年縞研究の推進			市町との連携状況	検討会は、年縞研究展示施設を含む縄文ロマンパークや道の駅、三方五湖S I C周辺の一体的な魅力向上策について、若狭町と共に検討する。		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

## 海浜自然センター特別企画事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	安全環境部	課名	自然環境課	課長名	黒部一隆	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [ 元気な社会 ]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [ 豊かな環境、すぐれた風景を次の世代に ]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数		
[事業目的]												
海浜自然センターの活用や来館を促進するため、海や湖に親しんだり主催事業や出張講座の内容を紹介する特別企画を開催する。												
[事業内容]												
(1) 海岸清掃と外来種捕獲・ナイトアクアリウム イベント 5月13日(土)・5月14日(日)【テーマ：うみ(海湖)を感じる】												
(2) 海湖の最新情報と味わう体験イベント 10月21日(土)・10月22日(日)【テーマ：うみ(海湖)を考える】												
[予算額の推移等] <span style="float: right;">(単位：千円)</span>												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	/	3,780	2,557	2,557	2,566	2,566						
2月現計予算額の推移	/	3,780	2,557	2,557								
決算額の推移	/	3,780	2,330									
[成果指標等の推移]												
区 分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	来館者数 (目標)	(50,000)	(100,000)	(110,000)	(120,000)	(120,000)	(120,000)	GW明けに1回目のイベントを開催し、環境保全の啓発をする。来館者の落ち込む冬の前に2回目のイベントを開催し、新しい客層を獲得し、秋・冬の来館者増を図る。				
	実績	41,013	117,340	122,329								
活動指標	イベント来場者数 (目標)	/	(31,000)	(12,000)	(10,000)	(10,000)	(10,000)	H29海域公園清掃と外来種捕獲・ナイトアクアリウムイベント(5,000人)、海湖の最新情報と味わう体験イベント(5,000人)※前年度の集客をもとに算出				
	実績	/	32,090	15,530	8,073							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	2,566			繰入 2,566	0	事業実施方法	直営					
						補助率	—					



## 事業評価

<b>事業名</b>	海浜自然センター特別企画事業	<b>部局名</b>	安全環境部	<b>課名</b>	自然環境課	<b>課長名</b>	黒部一隆	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>H26、H27とイベントを開催し、年間来館者数の1割を超える来館者を得た。イベントによって1万人以上の集客があることで、若狭地域への経済効果が見られる。また、リニューアル以降、夏休み期間中は多くの来館者を得ているが、10月以降の来館者が減少しており、秋冬のうみ（海湖）の魅力を伝えるためのイベントを開催し集客を図る。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
体験イベント参加者				10,000人				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有      事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      事業名    自然体験講座開催事業 (役割分担)  当センターの自然体験講座開催事業について紹介したり、参加の予約を受け付けたりするなど、講座参加率向上を図る。			市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立大学、水産試験場、各地区観光協会、海上保安庁、二州森林組合等との連携</li> <li>・ 若狭町ツーデーマーチ、若狭町祭「若祭」への参加協力</li> <li>・ H29の海域公園清掃イベントのゴミ処理については、ボランティア活動として処理費用を免除（若狭町）</li> </ul>			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた29年度の変更点			事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年6月に海岸清掃や外来種捕獲に関するイベントを開催、閑散期にもかかわらず、4,000人以上が来館</li> <li>・ 同年10月には海湖の食を味わう体験とナイトアクアリウムを開催、同じく4,000人以上が来館</li> </ul>					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	